

## ご挨拶

第 27 回日本語教育連絡会議はハンガリーのバラトン湖畔の町バラトンサールソーで開催されました。今回は日本語教育連絡会議が生まれた頃を意識して「ホテルに缶詰になり、朝から晩まで顔をつき合わせて（時に楽しく、時に真剣に）話し合う」スタイルを取りました。ホテル側の都合で「午後、終日、午前」という 2 泊 3 日の変則的なスケジュールでの会議となりましたが、それがかえってよかったかなと思います。

日本語教育連絡会議は、会員制度もなく、常設の委員会もなく、発表も早い者勝ちで、分科会也没有せん。そしてすべての発表を全員で聞き議論するというスタイルを取っています。今回の会議でも 26 本の発表がありました。その内容も多岐に渡り大変刺激的なものでした。

また自分自身が子育て真っ最中ということもあり、今回の会議では「お子様連れの方も気軽に参加できる」ことも目指しました。大人たちが会議で議論を戦わせている最中、子供達も交流を深め、最終日のコーヒープレイクでは「こども祭り」なるものも披露してくれました。普段、家族との会話以外に日本語と接する機会があまりない我が家の子供達にとっても今回の会議は素晴らしい夏の思い出になったと思います。

もちろん会議運営に関しては思い出すのも恥ずかしいようなミスも多々ありました。特にザグレブ・リュブリャナへ向かった皆様には「チャーターバスの座席が足りない」「座席指定券までであるのに、その車両が目的地まで行かない」などトラブルが続き申し訳なく思っております。

このように失敗も数多くありましたが、それでも無事会議が終了できましたのは、会議に参加くださった皆様、支えてくださったホテルの方々、アシストをしてくれた学生や子供達のお陰です。この場を借りて改めて御礼申し上げます。そしてまた次の会議で皆さまとお会いできることを心より楽しみにしております。

カーロリ・ガーシュパール・カルビン派大学

東アジア研究センター 日本学科

若井 誠二